

大里の空から

令和3年3月2日発行
第15号
文責：校長 大河原正道

あれから10年・・・

先日、福島民報社様から1冊の寄贈本が届きました。「続・大和田ノート 伝えることの大切さ 伝えることのすばらしさ」という本です。冒頭に、こんな文章がありました。

読者の皆様へ

2011年3月11日に発生した震災を伝える中で、私はどうしても譲れないこだわりがあります。それはこの震災を「東日本・津波・原発事故大震災」と呼ぶことです。「東日本大震災」では、原発事故に苦しむ福島県民の怒り、不安、悲しみが伝わらないと考えているからです。しかし、津波で多くの犠牲者が出ていることも忘れてはなりません。この本に登場する皆様は、私が取材を通して知り合った方々で、掲載については快く承諾を得ており、心から感謝しています。震災のつらい体験を、ある時は涙を流し、ある時は天国へ向けて笑顔で語ってくださった貴重な証言です。どうぞ、想像しながらお読みください。

この本を読んで、気づかされたことが2つあります。1つは、2万人以上の方が震災による犠牲となったわけですが、一口に2万人の死を思うのではなく、一人一人生きていた2万通りの物語が終わってしまったという「重み」を感じずにはいられません。その中には、小学生もいらっしまったことでしょうか。手塩にかけ、慈しみ育てたお子様が、ある日突然亡くなってしまふことは決してあってはならないことです。2つめは災害に関する危機管理の大切さです。先日、震度5の強い地震が夜中に発生しました。幸い、本校の被害は壁や通路に少しヒビが入っただけでした。もし、これが日中の授業中に発生したら、私たちの危機管理はしっかり機能したかどうかと背筋が凍る思いがしました。私は、あらためて本校の危機管理マニュアルを見直しました。

3月11日の東日本・津波・原発事故大震災では、宮城県石巻市の大川小学校は児童・教職員合わせて84名の尊い命が津波の犠牲となりました。また、本県南相馬市の大甕小学校でも児童が犠牲となってしまいました。一方で、請戸小学校は、校長先生はじめ教職員の適切な避難により、在籍していた児童・教職員全員が難を免れることとなりました。「続・大和田ノート」には、2013年2月6日付毎日新聞東北版記事が掲載されていました。

「とうほく 彩発見 請戸小の津波避難」

～中略～

地震発生直後、近隣の住民から「この地震は普通じゃない。津波が来る。子どもたちを避難させる。」と、学校に集まった。校長はすぐに避難を決めた。～中略～地震発生時すでに帰宅していた1年生11人を除く2年生から6年生までの83人が校舎にいた。校長・教頭が学校に残り、13人の教師は6年生を先頭に災害時の避難場所に指定されている西へ1.5km離れた大平山を目指した。～中略～地域のお年寄りの指示で、大平山ではなく近くの別の山を目指した。登り始めると東の方角から和太鼓を打ち鳴らすような音がした。「先生、津波が来たよ」。子どもたちが言った。～中略～

「請戸は地域力の強い土地柄。だから子どもたちも守れた。」と、6年生の担任が静かに語った。請戸小の子どもたちは今、県内外に避難している。いつか会える日を信じて。

(校長先生・教頭先生ともその日のうちに無事再会できたそうです。)

大震災を経験したほとんどの福島県民は、あのとときの思い出を自らの言葉で体験を語ることができるかと思います。今、小学校3年生の子どもたちは生まれてない10年目。私たちは、あのとときの思いや体験を次の世代に語り伝える義務があると共に、防災についてしっかりと備える必要があります。大きな災害が発生すると、私たち教職員はまず第一に子どもたちの命を守らねばなりません。そのためには、地域の皆様のお力をかりなければならないことがあろうかと思えます。あらためて地域・保護者の皆様にご協力をお願い申し上げます。

1年間お世話になりました

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大防止措置により、国の要請を受け県・村教委の通知により、明日3月4日（水）から臨時休校となり、3月中は一斉休校となりました。天栄村は入学式・始業式から4月21日まで通常どおり学校を再開することができました。その後5月13日まで再度休校になりました。保護者の皆様には、度々の休校によって困惑されたかと思います。

このような形で、令和2年度を終了することとなりましたが、保護者の皆様・地域の皆様には、これまでお寄せ頂きましたご支援・ご協力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

6年生をはじめ47名の一人一人の児童は、4月初めに比べて、心も体も大きく大きく成長しました。保護者の皆様も同じように感じられていることと思います。6年生11名の皆さんは、大里小学校に脈々と受けついでいる誇らしい伝統を引き継ぎ大きく発展することができました。

3月23日（火）の「卒業証書授与式」において、自信に満ちあふれた立派な姿を、できる範囲でお見せしたいと考えております。本来であれば、在校生全員で卒業生を送り出したいところではありますが、密を避けるために4・5年生が代表で卒業式に出席する予定です。



卒業証書授与式の日程をお知らせいたします

- 卒業生登校 8:40 ~ 9:00
- 卒業生写真撮影 9:15 ~ 9:30
(卒業生・保護者・担任・校長)
- 保護者入場 9:40
- 卒業生入場 9:55
- 卒業証書授与式 10:00 ~ 10:50
- 卒業生見送り 11:15 ~ 11:25

天栄米栽培 感謝の会をしました

3・4年生児童が田んぼの先生（吉成さん）や地域・保護者ボランティアさんにご協力いただき、土作りから稲刈りまで、1年間を通して指導していただきました。

今年は、コロナの影響で残念ながらおむすびにして食べることはできませんでしたが、地域に誇る「プレミアム天栄米」の栽培活動をとおして、栽培活動の苦労や郷土産品のすばらしさを学習することができました。感謝の会では、学習したことの成果発表をしました。稲の生育から生物の生息などもまとめることができました。「ふるさとを愛する教育」はこのような地道な活動が実を結ぶものと考えます。本当に感謝に堪えません。

